

第44期 (2021年3月期) ビジネスレポート

2020年4月1日 ▶▶ 2021年3月31日

AND株式会社 エーアンド・デイ

東京証券取引所市場第一部上場 証券コード：7745



A&D Topics A&Dトピックス

トピック1

車載ECUソフトウェア開発向けシミュレーションツール「GSIL (ジーシル)」の販売開始

2021年4月1日、株式会社ユビキタスAIコーポレーションと当社が共同開発を進めてきた車載向けECUソフトウェアの開発向けツール「GSIL」が販売開始となりました。

「GSIL」の活用により、ハードウェアが完成する前段階で容易にECUアプリケーションのデバッグ、検証が可能となります。

車載機器開発・テストツール製品販売・サポートの経験をもつユビキタスAIコーポレーションと、計測制御シミュレーションシステムの開発・販売の経験をもつ当社、両社の技術やノウハウを生かして開発した本ツールを通じ、「CASE」*時代を迎えた自動車ソフトウェア開発に新しいソリューションを提供します。

*「Connected (コネクティッド)」「Autonomous (自動化)」「Shared (シェアリング)」「Electric (電動化)」の頭文字をとった造語。

名称:GSIL (ジーシル)
販売開始日:2021年4月1日 (木)



主な特長

- 仮想ECU半自動生成による容易な環境構築 (最少数日~)
- HILSでのテストケースの再利用が可能
- パフォーマンス、タイミング検証が可能
- 顧客ニーズに合わせた柔軟なライセンス体系 (モデル流通、リモートワークに対応可能)



Ubiquitous AI Corporation



健康経営優良法人2021に認定

経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度において、2021年3月4日、当社は「健康経営優良法人2021」に認定されました。これは、2020年度に続き2年連続となります。

当社は、計測・計量・医療機器メーカーとして、お客様の健康をサポートする製品をご提供するためには、まず全社員が心身ともに健康であることが重要との考えに基づき、健康経営に取り組んでいます。



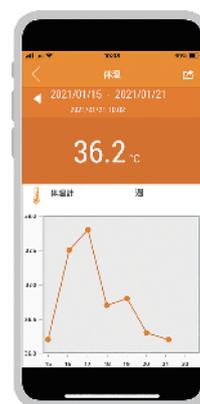
トピック2

アプリでデータ管理ができる予測式体温計「UT-201BLE Plus」を発売

当社は、Bluetooth通信機能を搭載し、スマートフォンのアプリで測定データを管理することができる予測式体温計「UT-201BLE Plus」(販売名: エー・アンド・デイ 電子体温計UT-201)を発売しました。本製品は腋の下に挟んで約30秒で測定が可能で、医療機器としても認証を受けています (医療機器認証番号: 224AHBZX00013000)。



▼アプリ画面



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに「第44期ビジネスレポート」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

■第44期の事業報告

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経済環境について、日本においては新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等により経済活動が制限され、景気の低迷が見られました。海外においては、中国や米国で経済活動の再開が進展している一方で、欧州では経済活動の制限が長期化しました。

このような状況のなか、当社グループは、感染症拡大防止を目的として、オンラインセミナーやWeb会議等を活用し営業活動を推進してまいりました。また、製品のコストダウン活動を推進するとともに固定費の抑制に努めるなか、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応するため、引き続き成長分野に対する積極的な投資を行うことで他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は48,424百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は4,404百万円(同19.0%増)、経常利益は4,564百万円(同33.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,339百万円(同111.8%増)となりました。

また、当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要施策のひとつと認識し、業績に応じて安定的に配当を実施することを基本方針としております。当期実績を踏まえ、当期の年間配当金は、前期より5円増配の1株当たり25円(中間配当10円、期末配当15円)といたしました。

■今後の見通し

当社は、2021年5月11日に直近3か年の中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)を発表いたしました。当社グループは、社会的価値観と産業構造の変化を好機と捉え経営体質の強化を図ります。業務改善により収益力を強化し、新規分野や成長分野へ積極的な投資を進めていくとともに、原価低減や販売費及び一般管理費の効率的な活用に努め、業績の維持・向上に取り組んでまいります。

株主の皆様には、当社グループに変わらぬご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
執行役員社長 森島 泰信

中期経営計画(連結)の基本方針

- 将来における売上高営業利益率10%の達成を視野に
- グループ総合力を強化し、産業構造の変化に対応することで社会課題解決へ貢献するとともに、経営体質を強化する
- 各本部と事業単位ごとの連携強化、グローバル連携の強化、連携強化のための仕組みの充実

社会的課題への貢献

健康長寿社会

遠隔医療・リモート診断の体制構築に寄与することにより、健康長寿社会の実現に貢献

デジタル社会

半導体のさらなる微細化実現に対応する機器の供給を通じて貢献

カーボンニュートラル

自動車関連業界向けシミュレーションツール・開発ツールの充実を通じて貢献

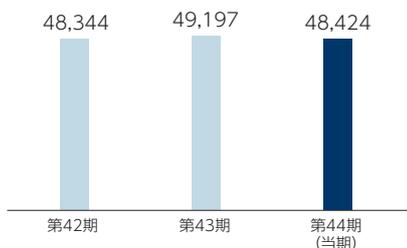
連結数値目標(2022年3月期～2024年3月期)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (実績予想)	2023年3月期 (目標)	2024年3月期 (目標)	年平均成長率 (%)
売上高	48,424	50,000	54,000	57,500	5.9%
営業利益	4,404	4,200	5,200	5,900	10.2%
経常利益	4,564	4,020	5,060	5,760	8.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,339	2,552	3,150	3,510	1.7%
売上高営業 利益率(%)	9.1%	8.4%	9.6%	10.3%	-

連結財務ハイライト①

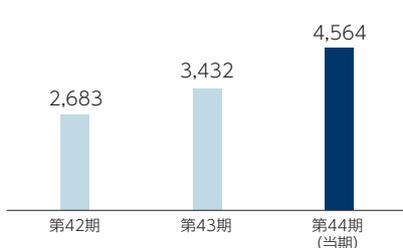
■ 売上高

単位: 百万円



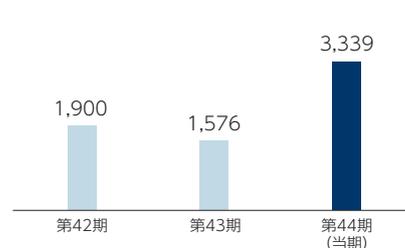
■ 経常利益

単位: 百万円



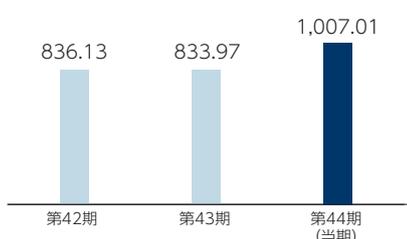
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

単位: 百万円



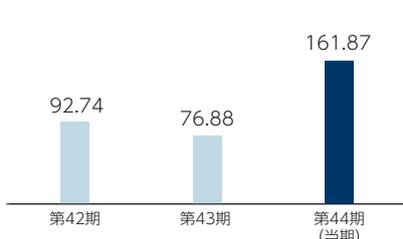
■ 1株当たり純資産

単位: 円



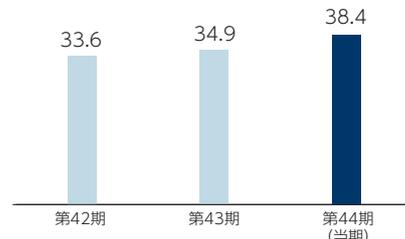
■ 1株当たり当期純利益

単位: 円



■ 自己資本比率

単位: %



営業の概況

医療・健康機器事業 44.9%

計測・計量機器事業 55.1%

健康機器 37.3%



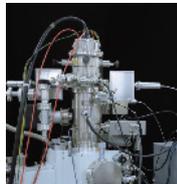
日本は非接触型体温計、米州は遠隔医療需要から通信機能付き機器等を中心に売上が増加し、欧州はeコマースが好調で増収増益。

医療機器 7.7%



医療機関等の逼迫した状況から苦戦を強いられていたが、徐々に回復し売上は前年同期を上回り着地。

半導体関連 8.2%



半導体メーカーの検査装置への設備投資が一巡した様相。計画通りの売上獲得も減収。

計測機器 5.0%



計量機器 31.5%



需要の低迷・設備投資先送りのなか、売上は前年同期比で減少したものの、豪州では計量機器全般の売上増加。韓国・インドにおいても経済活動と同調して回復基調。

DSP機器 10.3%



受注活動が依然制約を受ける状況下、売上は不調に終わるも受注は下期から回復基調。EV関連の引き合いが増加。

売上高
48,424
百万円

連結財務ハイライト②

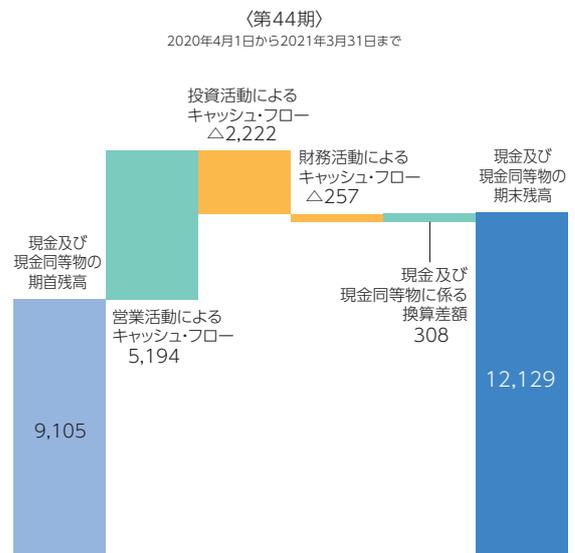
財務状況

単位:百万円



キャッシュ・フローの状況

単位:百万円



会社概要 (2021年3月31日現在)

■所在地	東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
■設立	1977(昭和52)年5月6日
■従業員	732名
■資本金	6,388,671,700円

■株式の状況	発行可能株式総数	40,000,000株
	発行済株式の総数	22,579,700株
	株主数	5,492名

重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
研精工業株式会社	81,800千円	100.0%	電子天秤及び医療機器の製造
リトラ株式会社	200,000千円	100.0%	インジケータ、ロードセル、電子式天秤及び選別・仕分け機器の製造
株式会社オリエンテック	268,640千円	100.0%	計測機器の製造
株式会社サム電子機械	330,000千円	100.0%	各種試験装置の製造、販売
株式会社ベスト測器	20,000千円	100.0%	環境計測機器の開発、製造、販売
株式会社ホロン	1,764,024千円	51.0%	半導体電子ビーム測定検査装置の開発、製造、販売
A&D ENGINEERING, INC.	200千米ドル	100.0%	当社製品の販売 (米国)
愛安徳電子(深圳)有限公司	45,000千香港ドル	100.0%	電子血圧計及び計量機器の製造
A&D RUS CO., LTD.	505,247千露布	100.0%	当社製品の販売 (ロシア)

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,386千株	6.61%
イー・アンド・デイ従業員持株会	1,159	5.53
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,128	5.38
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	1,090	5.20
(株)日本カストディ銀行(信託口)	846	4.04
(株)埼玉りそな銀行	606	2.89
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	589	2.81
野村信託銀行(株)(投信口)	499	2.38
(株)足利銀行	490	2.34
古川 哲	350	1.67

(注) 1. 当社は、提出会社名義の自己株式を1,616,070株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の導入に際して設定した(株)日本カストディ銀行(旧 資産管理サービス信託銀行(株))(信託口)が所有する当社株式335,400株を含んでおりません。
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

イー・アンド・デイ情報マガジン『WAY(ウェイ)』のご紹介

イー・アンド・デイ情報マガジン『WAY』は、A&D製品が

- ユーザー様にどのような目的で
- どのようにお使いいただき
- その結果どのようにお役に立てているか

について、インタビューを通じてお知らせする情報マガジンです。医療・健康機器から計測・計量機器、試験機まで、A&Dの“はかる”幅広いジャンルのユーザーインタビューをぜひご覧ください。

●最新号はこちらから

<https://www.aandd.co.jp/way/>

※バックナンバーもご覧いただくことができます。



『WAY』の言葉の由来

〈World of A&D Yields HONMONO〉の頭文字をとった造語です。お客様とともに進む明るい未来への「道」、そして現状よりも一歩でも「上」に行くことをイメージして名づけました。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主確定基準日	3月31日 その他必要があるときは、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL https://www.aandd.co.jp/
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行 全国本支店 みずほ証券 全国本支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の全国本支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。



株式会社イー・アンド・デイ

〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
<https://www.aandd.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

